

RIKKYO NIIZA 2026

立教新座中学校・高等学校

RIKKYO NI 202

YO

SCHOOL GUIDE 2026

NIIZA

26



SPIRIT OF RIKKYO NIIZA

明確な答えや解決策を見出しづらい社会問題が数多く発生する現代に必要なのは、多様な価値観や背景を持つ人々と協働し課題解決に取り組む力。立教新座中学校・高等学校は、建学の精神である「キリスト教に基づく人間教育」のもと、限りなく自由な環境の中で、自ら問い、考えながら世界の人々と「共に生きる力」を備えたグローバルリーダーを育成します。

ここは、
自由の学び舎

CONTENTS

- 1 特集 SPIRIT OF RIKKYO NIIZA
- 3 SPIRIT 1
MAKE YOUR WORLD LARGER.
自分と向き合い、問いながら、世界を広げる自由な学び
- 4 中学 英語2
- 5 高校 自由選択科目
- 6 高校 卒業研究論文
- 7 SPIRIT 2
BE A GLOBAL LEADER.
グローバル社会と共に生きるための新たな時代を担うリーダーシップ
- 8 LEADERSHIP 「共に生きる力」を育てる
- 9 GLOBAL 海外体験・多文化理解
- 11 卒業生が語る立教新座で培った MY SPIRIT
- 13 中学の学び
- 15 高校の学び
- 19 躍動する立教新座生
- 21 体験学習
- 23 施設紹介
- 25 年間行事
- 27 クラブ活動
- 29 進路
 - 31 立教大学への推薦進学
 - 32 受験による大学進学
- 33 ICT教育
- 34 Q&A
- 35 中学校 入試情報
- 36 高等学校 入試情報
- 37 校長メッセージ
立教学院について
沿革
- 38 学校概要

SPIRIT 1

MAKE YOUR WORLD LARGER.

自分と向き合い、問いながら、
世界を広げる自由な学び

何に興味があり、何を学びたいのか。
考え、判断し、選択する

多種多様な選択科目の中から受講科目を選んだり、
校外研修の行先を選んだり、自ら考え、判断する教育
プログラムを展開しています。学校生活において、
幅広い選択肢から判断し、選ぶことのできる「自由さ」
の中で独自の学びや研究テーマを見つけるだけで
なく、自らの選択や行動に責任を持つ「自律」の姿勢も
同時に養います。こうした選択の機会を何度も経験
し、自分の行動に対する振り返りを積み重ねることで、
自分にとってふさわしい道を見つけていきます。

自由

+

自律

興味・関心を追求し、
自ら選び、自ら学ぶ

自分の選択や行動に
責任を持つ

SPIRIT
1
MAKE YOUR
WORLD
LARGER.



伸ばしたいスキルに合わせて、自ら授業を選択

英語 2
— 中学

中学3年の「英語2」では「聞く・話す、読む、書く」のうち特に伸ばしたい分野を選択し、ネイティブ教員による授業で英語力を高めていきます。
ニュース記事や動画を用いてディベートを行う「SS」、会話や物語を聞き、話し合う「Speaking and Listening」、自分自身の考えを英語で表現するスキルを学ぶ「Writing」、英文を正しく読解する能力を鍛える「Reading」、基礎力を養い実践に生かす方法を学ぶ「Basic」。5つの選択科目の中から自分で受講科目を選択します。

※「Basic」のみ日本人教員による授業

科目一覧

SS

Speaking and
Listening

Writing

Reading

Basic
(基礎力を養う)



高校1年
須藤 煌介

**積極的に英語に触れ、英語を使うことで、
学習がもっと楽しくなる**

英語の4技能を広く伸ばしたいと思い、SSコースを選択。
iPadを使って単語や英語表現を学んだり、英語で物語を
創作したりと、さまざまな方法で学習を進めています。ネ
イティブの先生とのオールイングリッシュでの授業のため、
1年経つ頃にはスピーキングのテストでも会話がきちんと
成立し、成長を感じられてうれしかったです。実践的な学
びを通して、英語がもっと好きになりました。

“自分の学び”を発見し深める

高校3年からは、必修の選択科目のほかに「自由選択科目」の履修が始まります。文学作品や歴史を深く研究する講座、学力補強を目的にした講座、複数教科を横断的に学ぶ講座、立教大学の教員による講座など、特徴ある約90種類の講座の中から、自分の興味や将来の目標に応じて講座を選択。学問や研究に対する意欲を高め、卒業後につながる「自分だけの学び」を深めていきます。

▶ 詳細はP.17

講座例

異文化コミュニケーションと心理学	欧州統合の研究	物理実験
相対性理論に基づく宇宙論と計測	英語を哲学する	アラビア語
聖書と人権	仕立て	プログラミング入門
リーダーシップ・コミュニケーション実践	運動方法とコーチング	フィールドワークを理解する



立教大学
スポーツウエルネス学部
大野 悠真 (2024年度卒業)

学びたいことを選択し実践する中で 進学後のビジョンも見えてきた

自由選択科目で印象的だったのが「スポーツウエルネス基礎」という授業です。座学ではスポーツ科学や栄養学を学び、そこで得たノウハウを自身の水泳競技で検証。食事管理により自己ベストを1秒更新でき、スポーツ科学と栄養学への関心が高まりました。大学進学後はさらに学びを深め、将来はスポーツに関係する仕事に就いて社会に貢献していきたいです。

READ MORE



卒論を執筆し、“興味”を“研究”に変える

総合的な学習の一環として卒業研究論文を執筆します。高校2年の3学期からテーマ設定や資料収集に取り組み、指導教員のもとで推敲を重ね、1年間をかけて論文を完成させます。自らの興味を深く掘り下げ、研究として成立させることで、研究能力と自己表現能力の向上を促すだけでなく、問題意識を持って生活すること、物事に対する批判的な視点を身に付けることにもつながります。

▶ 詳細はP.17

2024年度テーマ例

高校における「日本型ウェルビーイング教育」の具体的実践
渋谷系音楽の「脱力感」について ～コードとメロディの視点からの考察～
身体性の導入による深層強化学習エージェントの 「人間らしい」振る舞いの自律的獲得
動物園飼育動物における異常行動の特性とQOLとの相関



立教大学
異文化コミュニケーション学部
大谷 未来 (2024年度卒業)

根気強く面談や調査、執筆に臨むことで 論理的思考力や伝える力も養われた

最初はテーマの切り口が見つからず、主査の先生に何度も相談する中で新たなひらめきにつながるヒントをいただき、「立教新座のリーダーシップ教育」というテーマにたどり着きました。多くの論文・文献を読み込んだり、構成を練り直したり……途中、くじけそうな時もありましたが、自分自身で決めたテーマだったから書き上げられました。執筆を通じ、根気強さや論理的思考力が鍛えられたと感じています。

READ MORE



SPIRIT 2

BE A GLOBAL LEADER.

グローバル社会を共に生きるための
新たな時代を担うリーダーシップ

世界中どこでも、誰とでも
発揮できる力を身に付ける

グローバルリーダーとは、高い語学力がある人や、集団を率いる力のある人ではありません。多様な価値観や背景を持つ人々が集まる場において、一人ひとりの良さを見つけ、チームの行動に発展させていく力。こうした力こそが、新しい時代を他者と生きるグローバルリーダーには求められます。立教新座では、国際交流プログラムとリーダーシップ教育を通じて、深い教養とコミュニケーション能力、問題解決力などを身に付け、主体的に行動できる人間の育成を目指しています。

グローバル体験

海外体験

異文化交流



一人のカリスマが
チームを引っ張る



一人ひとりが主体的に
問題解決に取り組む

立教新座で学ぶリーダーシップ



国籍や文化が異なる人々との
垣根を越えるグローバルリーダーへ

SPIRIT
2
BE A
GLOBAL
LEADER.



「共に生きる力」を育てる LEADERSHIP

自分の強みを発揮し、 仲間と共にゴールを目指す

自分の能力を生かして、周りに働きかけながら人と人をつなぐ
「これからの」リーダーシップを身に付け、発揮するため、授業や
部活動を通したさまざまなプログラムを実施しています。

自由選択科目



リーダーシップの専門家による2講座を開講。立教新座のリーダーシップを学び、個人ワークやグループワークなどを通じて誰もが持つリーダーシップを伸ばしていきます。

講演会



高校生を対象に「論理思考とリーダーシップ」「会社経営とリーダーシップ」の2つの講演会を開催。専門家やビジネスパーソンによる講演とワークを通して実践的に学びます。

その他プログラム

- 校外研修旅行
- 卒業生による講話会
- リーダーズミーティング
- フォローアップ研修
- 立教大学「立教GLP特別聴講生制度」



立教大学
社会学部
小松 央貴 (2024年度卒業)

リーダーシップは誰にとっても 身近なものだと学んだ

自由選択科目「実践的リーダーシップ」や「GL101」を履修し、卒業では「立教新座のリーダーシップ」をテーマに取り組みました。グループワークの機会も多く、メンバー同士補い合う中で「リーダーシップは全員が発揮できるもの」ということを実感。元々控えめなタイプでしたが、プログラムのおかげで考え方を更新でき、主体的に行動できるようになりました。

READ MORE



校内で、海外で、 グローバルな視野を育む

海外体験・多文化理解 GLOBAL

授業で英語力・英会話能力を身に付けるだけでなく、養った語学力を試し、海外の文化や価値観の違いを体感するために、海外研修や留学制度、留学生と交流する機会を豊富に用意。生徒の多様なニーズに応えています。海外の人々との交流を通じて、自分自身を知り、グローバルに物事を考えられる広い視野を身に付けるほか、他者を知り、世界中のどんな人とも共に生きる力を育てます。

アメリカ・サマーキャンプに参加

高校1年
海老原 顕理

異なる文化・価値観から
たくさんの刺激を受けた

カリフォルニア州の自然に囲まれた環境で多様な人たちと出会い、自分の意見を持つことや相手を尊重することの大切さを学びました。

高校1年
齋藤 駿

現地の人たちと過ごす
充実した日々

フラッグゲームやサッカーなどアクティビティ中心のプログラムのため、現地の人と打ち解けやすく、英語力向上にもつながりました。

READ MORE



（ 海外体験・多文化理解 ）

1年間の長期留学や2週間から1カ月の短期語学研修、2カ月のワン・クォーター留学など、さまざまな海外研修や留学プログラムを実施。国際的な視野を養うための機会を幅広く提供しています。また、留学生の受け入れなど、校内でも国際交流できる機会を多く設けています。

語学研修



アメリカ・サマーキャンプ
(中学3年対象／約2週間／夏休み)
アメリカ・カリフォルニア州のキャンプ場でアウトドア活動をして過ごします。

参加者数：約17名



オーストラリア短期留学
(高校1～3年対象／約3週間／夏休み)
現地校に通い、現地の生徒と同じ授業を受けながら実践的な英語力を養います。

参加者数：約25名



英国サマースクール
(高校1～3年対象／2～3週間／夏休み)
イギリスの語学学校で、授業やアクティビティを通して語学や文化を学びます。

参加者数：約20名



ギャップイヤー留学
(高校3年対象／約1カ月／進路決定後2～3月)
高校3年の進路決定後、アメリカの大学敷地内にある語学学校に留学します。

参加者数：約17名

その他の海外研修

教科が実施する海外研修～理科、宗教科、芸術科など～
(高校生対象)



フィンランドでのオーロラ観測や台湾の半導体メーカー見学(理科)、ポーランド海外研修(宗教科)、ニューヨーク海外研修(芸術科)など、趣向を凝らしたプログラムを実施しています。

参加者数：全体で約50名

ケンブリッジ海外研修～UK-Japan Young Scientist Workshop in Cambridge～
(高校生対象)



イギリスのClifton Science Trustが主催し、ケンブリッジ大学と立教英国学院が共催する日英科学交流プログラム。ロンドンでの研修のほか、Murray Edwards Collegeに滞在してイギリス・日本の高校生でチームを組み、ケンブリッジ大学の教授や研究者の指導のもと、実験や研究活動を通して最先端の科学技術を学び、国際的な素養を身に付けます。

参加者数：若干名

長期留学制度



留学先で取得した単位を振り替え、復学後に上の学年に編入する「進級復学」が可能です。留学準備のための情報提供や、留学中に必要な取得科目と単位数、あるいは海外生活での不安、帰国後の復学や成績に関する相談に対応しています。長期留学制度には、「学校代表派遣留学制度」と「私費留学」の2種類があり、前者は学校で選考を行い、奨学金を受給することができます。

私費留学

自分の興味や将来の目標に沿って、留学先の国や学校、プログラムを自由に選択。近年ではオーストラリアやニュージーランド、アメリカ、カナダ、イタリア、ポーランドへ留学した生徒もいます。

■ 学校代表派遣留学制度 提携校で派遣留学生として学ぶプログラムです。

カナダセントラルオカナガン公立学校区留学 (高校2年9月～)
カナダブリティッシュコロンビア州セントラルオカナガン地域の公立高校(5校のうちいずれか)へ留学する制度。期間は高校2年9月から約1年間で、定員は2名です。
※2025年度入学生より実施

立教英国学院中部 (中学2年4月～)
立教大学の系属校である立教英国学院に1年間留学。留学後は3年生に復学することを原則としています。

■ ワン・クォーター留学制度



セント・ポールズ・スクール
(高校2年対象／約2カ月／8～10月)

アメリカ・メリーランド州の提携校で現地生徒と共に学びます。国際バカロレアが提供するプログラムも履修可能です。

参加者数：1名

※2025年度より実施

国内での語学研修・国際交流

ブリティッシュヒルズ研修旅行
(全年学対象／2泊3日／夏休み)



福島県にある施設「ブリティッシュヒルズ」で滞在中に使用できる言語は英語のみ。参加者は、料理やスポーツ、科学実験などを通して英語と英国文化を学びます。

参加者数：約40名

日常の国際交流
(全年学対象／年間を通して実施)



提携校から留学生を受け入れ、授業や課外活動を通じて交流しています。留学生の生活をホストファミリーやバディとして支援する取り組みも行っています。

留学生数：約25名

卒業生が語る
立教新座で培った

MY SPIRIT

MY SPIRIT

SHOEI
HASHIMOTO

立教大学進学

誰もが持つリーダーシップ。
立教新座での学びが
新たな視点を与えてくれた

橋本 祥英／立教大学 経済学部 4年

フェンシングに没頭した立教新座での6年間で強く記憶に残っているのは最後のインターハイです。その3カ月前に行われた全国選抜決勝では44対45の一本差で敗れてしまったため、その悔しさをバネにチーム一丸となって臨んだ大会でした。団体戦で優勝できた時は本当にうれしかったです。現在は立教大学フェンシング部に所属。多様なメンバーで構成されるチームにおいて、立教新座で学んだ「誰もがリーダーシップを発揮できる」という考え方が、とても生かされています。大学生になって自由度がさらに増したので、スキル向上のために留学するなど、今後も時間を有意義に使っていきたいです。

2022年3月 卒業
経済の仕組みに興味を持ち、立教大学へ

2022年4月
立教大学経済学部
経済学科に入学

READ MORE



他大学進学

勉強だけではない
幅広い経験を通して
人間的に成長できた

大澤 蒼樹／横浜市立大学 医学部 6年

本格的に医学部進学を決意したのは中学3年の時。高校2年から在籍した他大学進学クラスでは他にも医学部志望者がいて、同じ志を持つ仲間と高い意欲を持って勉強に取り組むことができました。立教新座の先生は、知的好奇心をかき立てる授業をしてくださる方が多く、勉強自体を楽しむ姿勢も身に付きました。高校の部活動では「オルガニストギルド」に所属し、チャペルのパイプオルガンを演奏。また、国際的な課題解決に向けた発表を行う学外のイベントに、有志で参加したことも印象に残っています。こうした幅広く貴重な経験が、偏差値では測れない人間的な成長につながったと感じています。

2020年3月 卒業
医師を目指し
他大学進学の道へ

2020年4月
横浜市立大学
医学部医学科に入学

READ MORE



MY SPIRIT

SOUKI
OSAWA

MY SPIRIT

SUGURU
UMEHARA

立教新座での多様な経験が
「自分のやりたいこと」に
気付かせてくれた

梅原 碩／三菱UFJ信託銀行株式会社

現在は(株)三菱UFJフィナンシャル・グループの経営企画部に出向し、グループのブランド戦略業務に従事しています。振り返ると、このような「経営に携わる仕事がしたい」という気持ちが芽生えたのは、立教新座で学んでいた頃でした。在学時の経験で特に印象に残っているのが卒業研究論文です。両親が自営業をしていたこともあり、「老舗企業の永続条件」をテーマに執筆。50近くもの老舗企業(店舗)に飛び込みでアンケート調査を実施しました。その時に培った、論理的に書く力や行動力は、今の仕事でも大いに役立っています。何より、自由で選択肢の多い立教新座だからこそ、自分のやりたいことに出会えたのだと思います。

2013年3月 卒業
立教大学経営学部
経営学科へ

2017年4月
経営に携わる仕事が
したいと三菱UFJ信
託銀行㈱に入社

READ MORE



立教新座で過ごした日々が
起業や事業の
出発点になった

渡邊 勇輝／株式会社いいんじゃ 代表取締役

2020年、スポーツテック事業などを展開する「株式会社いいんじゃ」を創業。創業メンバーのほとんどは、実は立教新座の陸上競技部で出会った仲間たちです。私たちが同期として入部したばかりの頃は、部員が個々に自身の技術を向上させるような雰囲気でした。その状況を変えようと一緒に奔走したのが、その仲間たちだったのです。時には他の部員と衝突することもありましたが、お互いに目標を共有することで応援し合えるようになり、次第に全員が打ち解け合い、高め合う環境へと変わりました。そしてリレーでインターハイ出場を果たし、「スポーツは才能ではない」ことも同時に学んだのです。立教新座で過ごした日々は、まさに私や会社の原点と言えます。

2015年3月 卒業
立教大学経営学部
経営学科へ

2020年11月
「株式会社
いいんじゃ」を創業

READ MORE



MY SPIRIT

YUKI
WATANABE

基礎を学び、学習を習慣化。 自由と自律の道筋をつくる

特定の教科に偏ることなくさまざまな分野の学びに触れ、基礎的な学習能力と学習習慣を身に付けます。
中学1年から自ら考え、判断・行動する場面を経験することで、将来につながる自主性と個性を磨きます。



特色1

「選択」をくり返し 自ら判断する力を身に付ける

学校生活のあらゆる場面で、自分はどうしたいかを考え、自分で選択。自ら判断し、主体的に考える力を育みます。



特色2

基礎学力を着実に養う 習熟度別授業

数学、英語では、学習内容に応じた習熟度別の少人数授業を展開。生徒の理解度に合わせてきめ細やかな指導を行います。



特色3

本物に触れ、自ら体験

理科の実験授業、キャンパス内の自然観察園や岩石標本の展示物での観察のほか、校外学習や研修旅行では現地で実際に触れる体験を多く実施しています。



CURRICULUM カリキュラム

中学のカリキュラムでは、基礎学力の定着を重視しています。

各教科をバランスよく、しっかりと学ぶことによって、広い知識と理解力、そして応用力を身に付けます。

中学1年 34名×6クラス	科目	国語	表現 書写	社会 (地理)	数学 (数量)	数学 (図形)	理科Ⅰ (生物・物理分野)	理科Ⅱ (化学・地学分野)	音楽	美術	保健体育	武道	技術・家庭	英語	英会話	礼拝・キリスト教	特別活動	計 33時間
	時間	3	2	4	3	2	2	2	2	1	2	1	2	4	1	1	1	

中学2年 34名×6クラス	科目	国語α	国語β	社会 (歴史)	数学 (数量)	数学 (図形)	理科Ⅰ (化学・生物分野)	理科Ⅱ (物理・地学分野)	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	英会話	礼拝・キリスト教	特別活動	計 33時間
	時間	3	2	4	2	3	2	2	1	1	3	2	4	2	1	1	

中学3年 34名×6クラス	科目	国語α	国語β	社会 (公民)	数学	数学演習	理科Ⅰ (化学・生物分野) ※	理科Ⅱ (地学・物理分野) ※	音楽	美術	保健体育	武道	技術・家庭	英語1	英語2	礼拝・キリスト教	特別活動	計 33時間
	時間	3	2	4	3	2	2	2	1	1	3	1	1	4	2	1	1	

※3学期は総合分野(地球と私たちの未来のために)を理科Ⅰと理科Ⅱの両方で扱う

PICK UP 授業・プログラム紹介

中学1年

表現・書写

読む・書く・話す(討論)・聞くなど、「表現」に関わる基礎的な事項の習得を目指す科目です。話し方の基礎、聞き方の基礎から学び、ディベートなどで、自分の考えを他者へ伝える力を養い、疑問・調査・結論という思考の道筋を組み立てる習慣を身に付けます。

表現	書写
読む 課題図書・新聞記事を読む、図書館で調べる	硬筆・毛筆
書く テーマ作文・意見文、文集作成	
話す・聞く スピーチ、発表・討論(ディベート)	

中学1年～3年

校外学習

社会科と理科において、教室で得た知識を現場で深める「校外学習」を実施しています。研究機関や博物館を訪れ、実際に見て歩き、触れる学びを体感します。▶詳細はP.21

〈社会科〉		〈理科〉
地理的分野 つくばの研究機関を見学	1年	本物に触れ、親しむ 上野動物園を見学
歴史的分野 国立歴史民俗博物館を見学	2年	興味・関心を持って調べる 国立科学博物館を見学
公民的分野 研究テーマと見学先を自分で選択	3年	科学的に考える 研究テーマと見学先を自分で選択

MESSAGE 生徒と教員からメッセージ

6年間を通して自分の将来を じっくり考えられる環境

理科教諭 和田 卓

私が担当する理科では、中学の3年間を通して「本物に触れ、親しむ」ということをテーマに掲げています。校外学習を取り入れているのも、実際にいろいろなものを見て、感じて、経験してもらいたいから。体験的な学びを通し、授業の内容をより身近に感じてもらえたらうれしいです。立教新座では、中高6年間で自分が将来何をやりたいのか、何になりたいかをじっくり考えられます。また、好きなこと・やりたいことをとことん追求できる環境でもあるので、ぜひこの贅沢な時間を使って、自分の興味を積極的に広げたり、深めたりしてほしいと思います。



施設や「人」に恵まれた環境で 日々たくさんの刺激を受けている

中学2年 室井 来緒

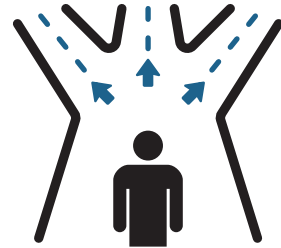
施設や設備が整備されているため文武両道を実現できると思い、立教新座への進学を決めました。休み時間に人工芝のサッカー場を利用したり、図書館の個別スペースで自主勉強をしたりと、充実していて、毎日ワクワク過ごしています。和田先生の理科の授業は実験の回数が多く、さらに校外学習でつくばの研究機関を訪問するなど、手を動かし身体で覚える機会が豊富で楽しいです。テストの時にも「あの時こうだったな」と思い出すことで解答を導き出すことも多々あります。日々たくさんの刺激があり、それが自分の成長につながっていることを実感しています。

READ MORE



自ら学び考える力を付け、 自律した大人へと成長する

豊富な選択肢から主体的に選び取り、取り組む力を身に付けます。
自己を確立し、自身の価値観を持って考え、行動できる人間へと成長していきます。



特色1

履修科目も研究テーマも 自分で選ぶ

履修する科目や卒業研究論文で扱うテーマは、生徒自身が選択します。自ら判断したことに責任を持ち、考え、やり遂げる力を養います。



特色2

「一般クラス」と 「他大学進学クラス」

高校2年からは他大学進学を目指すための「他大学進学クラス」を設置。進路に応じたきめ細かい指導を行います。



特色3

発展した学びに触れる 立教大学特別聴講生制度

高校3年を対象に、立教大学の特別聴講生として大学の指定科目を受講できる高大連携プログラムを実施しています。



CURRICULUM カリキュラム

学年が上がるにつれて範囲が広がる選択科目が大きな特長です。
中学までに身に付けた基礎学力を土台として専門的な教養や論理的思考力を磨きます。

高校1年
40名×8クラス

必修科目																	必修選択				計 35 単位					
科目	単位	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	聖書	総合的な探究の時間	H	R	音楽Ⅰ	美術Ⅰ		工芸Ⅰ	書道Ⅰ			
		3	2	2	1	2	3	2	3	2	1	4	2	2	2	1	1		2							
																						※4科目の中から 1科目選択				

高校2年
40名×8クラス
うち1クラスは
他大学進学クラス

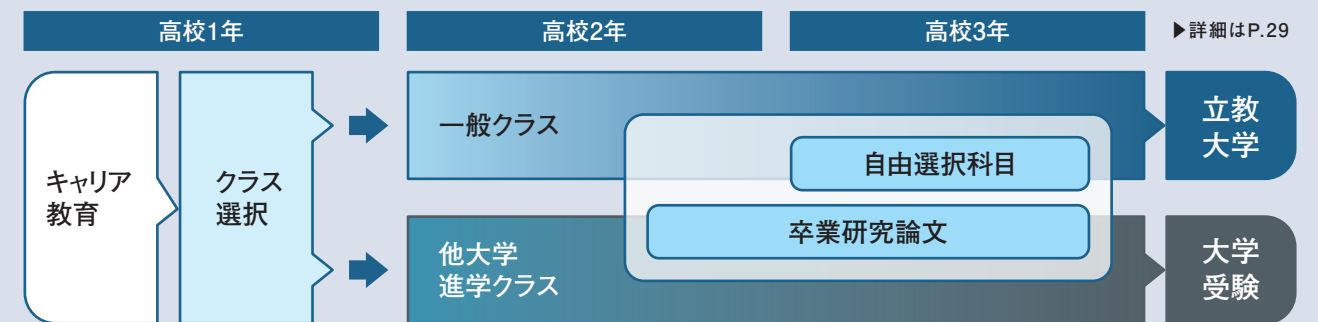
必修科目																	必修選択			計 35 単位			
科目	単位	論理国語	古典探究	歴史総合	数学Ⅱ	数学B	物理基礎	生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	論理表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	H	R	地理探究	日本史探究	世界史探究				
		2	2	1	4	2	3	3	3	1	4	2	2	1	1		4						
																				※3科目の中から1科目選択			

高校3年
40名×8クラス
うち1クラスは
他大学進学クラス

必修科目										必修選択										計 31 33 単位										
科目	単位	文学国語	数学C	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	総合的な 探究の時間	H	R	論理国語	古典探究	地理	日本史	世界史	公民 政治・経済 倫理	物理	化学	生物	自由選択科目 ※3											
		3	2	4	4	2	2	1		3※1					4※2				6~8											
																				※1 2科目の中から1科目選択 ※2 7科目の中から1科目選択 ※3 「数学Ⅲ」は自由選択科目として履修										

CAREER 進路・進学

高校1年の春にOBによる講話会を実施するなど、入学後の早い段階から進路を考える機会を設けています。
高校2年からは、希望進路に応じてカリキュラムの異なるクラスも選択可能です。



MESSAGE 生徒と教員からメッセージ

生徒たちの興味を引き出す 授業を実施したい

英語科教諭 檜原 和真

言語は、コミュニケーションのためのツールです。生徒には英語を身近に感じてほしいです。そのためにiPadを活用した学習方法も採用しています。特に私が担当する「論理・表現」というのは、座学が中心になりがちです。だからこそ、席が隣の人と答えを確認し合ってもらったり、議論してもらったりと、能動的な学び合いの場をつくることも意識しています。生徒たちには、相手の気持ちを考え、他者に寄り添えるような人になってほしいと考えています。言語を通して多文化・異文化への理解を深めてもらい、「共に生きる力」も育んでもらえたらうれしいです。



生徒思いの先生たちが 挑戦の時に背中を押してくれる

高校2年 西坂 龍太郎

現在、サイバーセキュリティについて個人的に学びを深めています。IT分野の情報を追う上で、英語のスキルは欠かせません。檜原先生の英語の授業では、ゲームを活用するなど単語や文法を覚えやすい工夫をいただき、英語に対する抵抗感がかなり減りました。そのおかげもあり、最近ではIT関連の英文の文献や論文を読むスピードと理解度が上がったと感じています。高校では授業の選択肢が広がるのに加え、参加可能な各種プログラムも増えます。その機会を生かし、コンピュータサイエンスを究める上で欠かせない英語や数学の力を、今後も伸ばしていきたいです。

READ MORE



卒業研究論文

自らの興味を深く掘り下げ、研究論文としてまとめあげます。解決を探る力と豊かな確かな日本語の能力を養います。

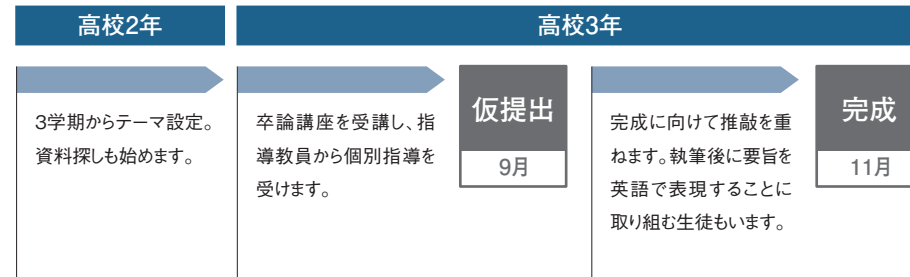


高校2年から1年間継続して完成に向けて取り組みます。

字数は12,000字から。大学進学後も役立つ表現力を身に付けます。

政治、教育、アート、異文化など、幅広いテーマを追究します。

●完成までの流れ



高大連携プログラム

高校3年生を対象として、大学の科目を受講できる制度や、大学図書館を利用できる制度など、一貫連携教育を進めています。

●立教大学特別聴講生制度

大学で設定されている科目の一部を、高校3年次の選択科目として履修することができます。大学生と同じレポートやテストに合格すると、本校での修得単位となるだけでなく、立教大学進学後の修得単位としても認められます。大学での学問や研究の一端に触れ、知的好奇心を高めます。

●立教GLP特別聴講生制度

立教大学の全学部学生対象プログラム「立教GLP(グローバル・リーダーシップ・プログラム)」の入門科目「GL101」を特別聴講生として受講することができます。「GL101」は、協力企業から提示された課題の解決にチームで取り組む授業で、大学生とのグループワークと振り返りを通して、自分なりのリーダーシップの発揮方法を見つけます。

立教GLPとは？

グローバル化が進む社会で求められる、新しい形のリーダーシップを育成するプログラム。カリスマ的な先導力ではなく、異なる思考や価値観を持つ一人ひとりがチームに貢献する力を育むことを目的としています。

●立教大学図書館の利用

立教新座の生徒は本校の図書館を通して大学の蔵書を借りることができます。特別聴講生の生徒は、立教大学の池袋および新座図書館を自由に利用することができます。授業の予習・復習や、卒業研究論文の執筆に役立っています。



立教大学 経済学部
渡邊 公 (2024年度卒業)

刺激的な授業や施設利用を体験し、未来の大学生活に期待が膨らんだ

大学の授業や雰囲気を一足先に体験できると思い、立教GLP特別聴講生制度を利用して「GL101」を履修。大学生とのグループワークでは、斬新なアイデアや多様な価値観に触れたことが印象に残っています。大学の図書館も利用でき、大学生活への期待感が高まりました。



自由選択科目

大学での専門的な研究にもつながる多種多様な科目の中から、自分の興味や進路に合わせて幅広く学ぶことができます。



興味や志望する進路に応じて、自分で受講講座を選択します。

教科の枠を越えて、「自分の学び」が追究できる多様な科目を設定。

深い学びを身に付けるため、2コマ連続で授業を行います。

●2025年度「自由選択科目」講座一覧

受験国語／京都論／日本史演習／地理演習／ハワイの歴史／地域史研究／世界史近現代の探究／異文化コミュニケーションと心理学／欧州統合の研究／平和・人権・憲法／数学Ⅲα(4単位)／数学Ⅲβ(4単位)／総合数学演習／ヒトの生物学A／物理実験／「測る」と分子が見えてくる！／物理(4単位)／化学特講／環境生態学／解剖A／相対性理論に基づく宇宙論と計測／人類はいかにして原子を認識していったか／生物(4単位)／スポーツウエルネス基礎／美術(3年)／立体造形／音楽表現演習／書道表現演習／総合英語A1／英検2級受験対策／英語を哲学する／TOEFL Preparation／Classical Studies／History of Hollywood／Europe after Rome／スペイン語／朝鮮語／ロシア語／アラビア語／ラテン語／ドイツ語A／ドイツ語B／フランス語A／フランス語B／中国語A／中国語B／イタリア語A／イタリア語B／聖書と人権／共観福音書講読／聖書と、よくある話／仕立て／情報音楽入門／Web作成基礎入門編／プログラミング入門／実践的リーダーシップ／リーダーシップ・コミュニケーション実践／運動方法とコーチング／フィールドワークを理解する／卒論演習講座(33講座)

TIME TABLE 時間割

特定の分野に偏らない
多様な学び

=

自由
選択科目
92
講座

×

必修選択
科目も充実
216
通り

高校3年では、ほとんどの授業が選択科目になります。自由選択科目に加えて、必修選択科目も216通りの組み合わせから選択。多様な学びに触れることができます。

	月	火	水	木	金	土
1	自由選択科目					国語
2						数学C
3	地理・歴史／公民／理科	地理・歴史／公民／理科	英語コミュニケーションⅢ	ホームルーム	体育	地理・歴史／公民／理科
4	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	国語	地理・歴史／公民／理科		英語コミュニケーションⅢ
5	文学国語	体育	論理・表現Ⅲ	国語	文学国語	
6			文学国語	英語コミュニケーションⅢ	数学C	

□…必修科目 ■…選択科目

●高校3年生(2025年度) 時間割例

- 国語
論理国語・古典探究から選択
- 地理・歴史／公民／理科
地理、日本史、世界史、倫理・政治経済、化学、生物から選択
※物理は、自由選択科目として履修
- 数学C
数学C(理系)、数学C(文系)から選択
※数学Ⅲα、数学Ⅲβは、自由選択科目として履修
- 体育
バレーボール、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、陸上競技、器械運動、ソフトボール、剣道、水泳から選択

躍動する 立教新座生

自由な校風のもと、自らの興味や関心を追求し、
課外活動に励む立教新座生を紹介します。



特別対談

理科系分野を追求できる環境が、大きな力に

化学・物理分野の研究発表会「第75回埼玉県科学教育振興展覧会」に出展し
優秀賞を受賞した2人が、それぞれの理科系の取り組み・研究について語り合いました。

高橋：小学生の時から生き物が好きで、科学教育振興展覧会に出展したのも、「多摩川の微生物を利用した強力で持続可能な電池の開発」という内容の論文でした。多摩川は幼少期から遊んでいた場所であり、多摩川の微生物を取り上げた研究・論文で優秀賞をいただいたことは、本当にうれしかったです。

廣瀬：私は「機体の形が変わると、空気の流れ方はどのように変化するか」というテーマの研究を行いました。中学2年の時に夏休みの自由研究で「機体の形が変わると、どう機体の動きが変化するか」ということを研究していて、その発展として空気の流れに着目した研究を行いました。中学2年・3年と2回出展しましたが、今回初めて優秀賞を獲得でき、根気強く研究を続けてきて良かったと感じています。

高橋：研究や実験には根気が求められますよね。微生物電池の試験体を作っただけでもほぼ丸1日掛かります。それに実験は失敗することも多く、最終的に50個くらいは試験体を作りました。根気のいる作業ではありましたが、失敗は「新たな工夫」にもつながり、そこにやりがいを感じられたことで最後まで続けられたのだと思います。廣瀬さんはどのように実験に取り組んでいましたか？

廣瀬：自作のペットボトルロケットを針金で固定し、そこにコールドスプレーを当てて空気の流れを可視化して、iPadでその様子を撮影・記録しました。ペットボトルロケットは大きく先端・胴体・スカートの3つの部位で構成されています。それぞれ何種類か作り、組み合わせを変えて何パターンも実験しました。展覧会への出展にあたっては論文や発表資料を作る必要もあるので、実験以外にもい



高校1年 廣瀬 凜己

高校2年 高橋 海

ろいろなことに試行錯誤しながら取り組んでいたことを覚えています。

高橋：私も今回初めて論文を執筆しましたが、決められた枚数の中で最初はどう書いていいかわからない状態でした。しかし、化学部顧問の加藤天先生が基本的な論文の書き方や書く上でのコツを教えてくださいましたのに加え、最後まで何度も添削していただき本当にありがたかったです。

廣瀬：私は理科教諭の島野誠大先生にサポートしていただきました。島野先生との思い出で特に印象に残っているのが、中学2年で初めて科学教育振興展覧会に参加した時のこと。展覧会では研究発表をする場が設けられているのですが、中学2年の時は発表の仕方が全くわからず、何十回と練習に付き合っていました。

高橋：専門分野に詳しい先生が多く在籍しているのはもちろん、理科系の施設・設備が充実している点も立教新座の魅力です。その影響からか、私は入学してからさらに理科系の分野に対する関心が高まり、今回の研究につながったと感じています。今後も研究を進め、卒業研究論文で自分が納得いく研究内容にまとめていきたいです。

廣瀬：立教新座3号館の3階1フロアはすべて化学や物理、生物などの実験教室になっています。さらに発表練習に最適な階段教室もあるなど、あらゆるスキルを磨ける環境だと感じています。高校1年の期間は自分のやりたいことを突き詰めるには最適だとも思うので、今回の研究の発展か、あるいは新しく興味を持ったことにどんどんチャレンジしたいです。

READ MORE



躍動する立教新座生

全国大会出場を果たすため、 部員の個性を生かしたチームをつくる

野球部 中学3年 加賀 旬

野 球観戦が好きな父の影響で、小学2年生の頃から野球を始めました。立教新座に入学したのは、野球場が広く、加えて強い選手も集まってくるため、練習するには素晴らしい環境だと感じたからです。現在は、キャプテンとしてチームをマネジメントする役割を担っています。私たちの代が中心となってから初めて出場する大きな大会である新人戦では、相手ピッチャーの配球やバッターの調子などを研究・分析しながら臨み、ベスト4まで進出できました。とてもうれしかったのですが、あと1勝していれば全国大会に手が届い



たことを考えると、悔しさの残る結果でもありました。試合中の声掛けや連携の不足、また、チーム全体として練習にもっと主体的に取り組む必要があることも痛感しました。その反省を生かし、現在は監督や副キャプテンと

共に、チーム皆の声を取り入れながら練習メニューを組むなど、新たな試みも実施しています。念願の全国大会出場を果たすため、さらに集中力と熱量を上げて練習に励んでいきたいです。

全国ベスト4を目指し、全力で練習に励む日々

柔道部 高校3年 二本柳 一希



勉 強と3歳から続けている柔道を両立させたいと思い、それを叶えてくれる環境の立教新座に推薦入試で進学しました。立教新座の柔道部出身だった兄の話から、伸び伸びと成長できそうだと感じたことも進学の手となりました。高校2年次には、目標の一つ

であったインターハイ出場を叶えました。念願の舞台であったものの、対戦相手に一瞬の油断を突かれてしまい、初戦で敗退。メンタル強化の必要性を強く感じました。この課題を解消するために、練習でも冷静さを保てるよう意識すると同時に、「厳しい練習をやり切った」と

自信を持てるよう、日々全力で取り組んできました。その成果もあり、3月の全国高等学校柔道選手権大会では、全国ベスト16まで進出できました。部は、和気あいあいとした雰囲気ですが、練習は厳しいです。しかし、厳しい練習に耐えるという経験は、今後の人生でもきっと役に立つだろうと思っています。今年は3年生として部を引っばっていく役割を担いながら、インターハイ出場はもちろん、ベスト4以上を達成して昨年のリベンジを果たしたいです。



Learning by doing

体験学習

社会や現場に触れる

体験学習は、教室での授業で得た知識を現場で生かす貴重な機会です。物事を実際に見て、本物に触れることで、豊かな感性を磨きます。テーマ設定やコース選択など自ら選ぶという経験を通して自主性を養い、自ら考え、判断できる人間へと成長していきます。

校外学習

中学1～3年

理科と社会科の2教科において、博物館や科学館、研究機関などを訪問する「校外学習」を実施しています。3年間の現場学習とレポート作成によって学びを深めるだけでなく、自らテーマを設定してレポートをまとめるための課題を発見する能力や表現力を磨きます。



社会科

1年

地理的分野

筑波研究学園都市の「地図と測量の科学館」「筑波実験植物園」などを見学し、ワークシートを完成させます。授業やこれまでの調べ学習で得た知識を実際のフィールドで役立てる機会としています。

2年

歴史的分野

国立歴史民俗博物館で古代から現代までの展示を見学しながら、観察や考察を通じた歴史学習を体験。授業で身に付けた知識と、史料の読解で得た歴史的背景にある事象や文化を結び付けることがねらいです。

3年

公民的分野

各自で興味・関心のある博物館や資料館を見学し、公民分野での校外学習レポートを作成します。日本銀行や憲政記念館、法務省などの見学を通して、政治や経済、国際関係への理解を深めます。

理科

1年

本物に触れ、親しむ

「上野動物園」を見学し、人間と自然の関わりについて考えます。自然科学の学習の始まりである1年生では、「本物に触れ、親しむ」ことに重点を置き、学習における基本的な能力を養います。

2年

興味・関心を持って調べる

「自ら確かめること」というテーマのもと、国立科学博物館を見学します。教室で行う授業では実験や体験が難しい「進化」や「地質」を中心に、物理や生物など幅広い分野の展示を通して実践的に知識を身に付けます。

3年

科学的に考える

1、2年生で体験した校外学習につながるプログラムとして、「茨城県次世代エネルギーパーク」を見学。自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養います。

校外研修旅行

中学3年

高校2年

中学3年と高校2年では、それぞれ1学期に校外研修旅行を実施しています。訪れた先の歴史や文化、自然に触れる経験を通して、日本について学びを深めるだけでなく、多文化交流において重要な異なる文化や自然と共に生きる力を養います。

中学 日本の自然と文化に触れる

「日本の自然と文化に触れる」をテーマに5コースを設定。生徒自身で行先を選び、事前学習として少人数のグループに分かれて行動計画を立てたり、調べ学習をしたりします。現地ではフィールドワークや自主研修を行い、振り返りとレポート作成を行う事後研修も実施。さらに、S.P.F.(文化祭)では研修の成果をまとめたレポートを発表するため、見学だけにとどまらない総合的な学習として展開しています。



実施コース例

- 道央コース ●道東コース ●関西コース ●屋久島・種子島コース ●石垣島コース

高校 平和学習

「平和学習」をテーマに3つのコースを設定しています。戦争を体験した方々の講話を聞き、資料館や戦跡を訪れることで、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えます。また、高校2年「情報I」の授業と連携し、プレゼンテーションソフトを用いた「校外研修旅行記」を作成。研修の成果を発表することで、自分の主張をわかりやすく伝えるリーダーシップスキルも磨きます。



実施コース例

- 中国・四国(広島)コース ●九州(長崎)コース ●沖縄コース

その他の体験学習

中 学

- オリエンテーションキャンプ(1年のみ)
- 清里環境ボランティアキャンプ
- 音楽祭
- 音楽鑑賞会
- 芸術鑑賞会

高 校

- 榛名ボランティアキャンプ
- 清里環境ボランティアキャンプ
- 音楽祭

海外体験プログラムの詳細は P.10





本館



2号館



3号館



チャペル



CALL教室



生物実験室



図書館／約17万8,000冊の蔵書やCD・DVD資料などが幅広くそろっています。

自由な学びを支える 立教新座の学び舎

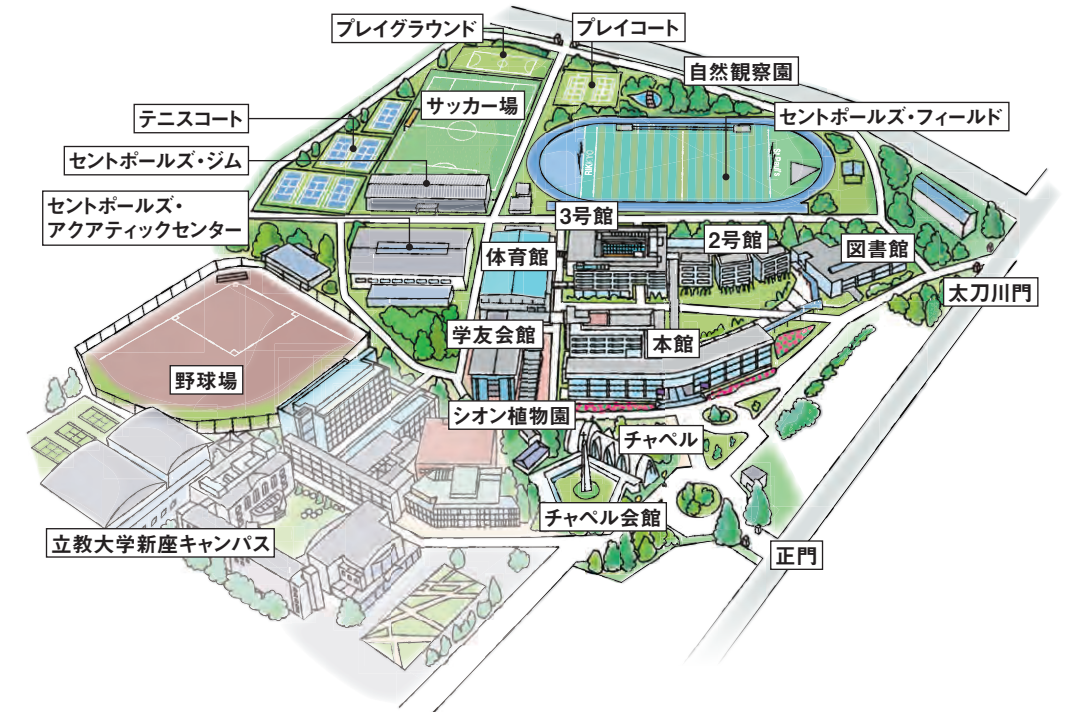
10万㎡におよぶ緑豊かなキャンパスには、明るく風通しのよい校舎、公式競技も可能なスポーツ施設など、生徒が安心して過ごすことのできる環境が整っています。



SEE MORE

Campus Map

敷地総面積	93,608㎡
校舎総面積	30,790㎡
普通教室	42
選択小教室	6
選択中教室	10
選択大教室	2
階段教室	1
理科実験室、特別教室	6
美術室	1
工芸室	1
技術室	1
音楽室	2
コンピュータ教室	3
CALL教室(コンピュータ教室)	2
調理実習室	1
進路指導資料室	1
書写・書道室	1
視聴覚室	1
生徒ホール(食堂)	
図書館	
セントボールズ・スタジオ	
体育館	
野球場	
テニスコート(6面)	
プレイコート(2面)	
セントボールズ・アクアティックセンター	
セントボールズ・フィールド	
セントボールズ・ジム	
サッカー場	
プレイグラウンド	
自然観察園	
シオン植物園	



セントボールズ・フィールド



セントボールズ・アクアティックセンター／50m×10コースを備えた室内温水プールです。



サッカー場



自然観察園

年間行事

1年間を彩る多種多様な行事は、仲間との協力を通して新しい自分に出会うきっかけになります。
また、S.P.F.(文化祭)やイルミネーション点灯式など、実行委員会が主体的に運営を行い、自由と自律の心を養います。

中学



PICK UP

オリエンテーションキャンプ

中学1年生は、入学してすぐに2泊3日のキャンプを行います。トレッキングや自然観察などの活動を通して、自然に触れ、自然との関わり方を学ぶとともに、仲間と理解を深め、集団生活でのマナーを身に付けます。



PICK UP

S.P.F.(文化祭)

クラス展示や文化部の発表、有志による喫茶店やデックスステージでのパフォーマンスなど、さまざまなイベントが行われます。企画と運営は、中学・高校それぞれの文化祭実行委員会が中心となっています。



PICK UP

卒業式

中学・高校の3年生がそれぞれの思い出を胸に、新しいステージへと旅立ちます。

入学式 **P**

新入生ガイダンス
イースター礼拝
オリエンテーションキャンプ **P**
標準学力試験

創立記念礼拝

生徒総会
校外研修旅行
理科、社会科校外学習
中間試験
朝霞地区大会

期末試験

人権学習
美術特別授業
スポーツ大会
音楽鑑賞会

アメリカ・サマーキャンプ★

ブリティッシュヒルズ★
清里環境ボランティアキャンプ★

宿題試験

運動会 **P**
朝霞地区大会
学力テスト
中間試験

S.P.F.(文化祭) **P**

収穫感謝礼拝
社会科校外学習
美術特別授業
TOEIC® Bridge

イルミネーション点灯式 **P**

期末試験
クリスマス礼拝
芸術鑑賞会
英語スピーチコンテスト

宿題試験・英語実力試験

聖パウロ回心日礼拝
音楽祭
マラソン大会
生徒会会長選挙

期末試験

芸術鑑賞会
卒業礼拝・終業礼拝
卒業式 **P**

1学期 [4月～7月]

夏季休業 [7月～8月]

2学期 [9月～12月]

冬季休業 [12月～1月]

3学期 [1月～3月]

高校

入学式 **P**

新入生ガイダンス
イースター礼拝
標準学力試験
創立記念礼拝

生徒総会

校外研修旅行
OB講話会
中間試験
立教大学学部学科説明会

期末試験

人権学習
体育祭 **P**

オーストラリア短期留学★

英国サマースクール★
ブリティッシュヒルズ★
UK-Japan Young Scientist Workshop★
清里環境ボランティアキャンプ★
榛名ボランティアキャンプ★

宿題試験

立教大学教員特別授業
中間試験
S.P.F.(文化祭) **P**

TOEIC® IP

TOEIC® Bridge
収穫感謝礼拝
学友会会長選挙
学年末試験(3年)

イルミネーション点灯式 **P**

期末試験
クリスマス礼拝

理科海外研修★

宿題試験

聖パウロ回心日礼拝
人権学習
音楽祭
マラソン大会

学年末試験(1・2年)

ギャップイヤー留学★
宗教科海外研修★
卒業礼拝
卒業式 **P**
英語スピーチコンテスト
生徒総会



PICK UP

入学式

新しい立教新座の仲間として、中学・高校の新入生を迎えます。入学式はキャンパス内の体育館で、キリスト教の礼拝形式で行われます。



PICK UP

運動会(中学)／体育祭(高校)

中学は2学期に運動会を実施。3学年の縦割りチームが一丸となって勝利を目指します。高校は学年ごとに体育祭を開催します。種目の選定や当日の運営は生徒自身が行い、球技のほか騎馬戦など、学年によって取り組み競技は異なります。



PICK UP

イルミネーション点灯式

チャペルでの礼拝後、正門にある2本のヒマラヤ杉に約1,000個のイルミネーションを点灯します。立教新座の冬の風物詩として、クリスマス実行委員会を中心に準備を進めます。

★は希望者のみ参加

立教新座生の日

8:05



登校

多くの生徒は、志木駅からは徒歩で、新座駅からスクールバスを利用して登校しています。

8:30



チャペルアワー

礼拝は毎朝キャンパス内のチャペルで実施されており、週1回の決まった曜日に礼拝に参加しています。

8:40



始業礼拝・朝礼

中学生は、校内放送による始業礼拝を行います。高校生は、SHRとして担任からの連絡事項を聞き、授業に臨みます。

12:35



1～4時間目

授業は1コマ50分。土曜日は4時間目までの時間割となります。

13:20



昼休み

昼休みは45分。生徒ホール(生徒食堂)でランチを食べたり、教室で弁当や売店の軽食を食べたり、自由に過ごします。

15:10



5～6時間目

中学生は、毎週木曜日は原則5時間目までの授業です。

15:30



終礼・清掃

終礼とともに1日の授業が終了。教室は自分たちで清掃します。

クラブ活動

ほとんどの生徒がクラブに所属し、活動に励んでいます。原則、中学は18:00、高校は18:30が完全下校時間です。



RIKKYO
NIIZA
CLUBS

クラブ活動

体育部

中・・・中学 高・・・高校

剣道部 中 高
サイクル部 中 高
サッカー部 中 高
柔道部 中 高
水泳部 中 高
ソフトテニス部 中 高

体操部 中 高
卓球部 中 高
テニス部 中 高
バスケットボール部 中 高
バレーボール部 中 高
フェンシング部 中 高

野球部 中 高
ラグビー部 中 高
陸上競技部 中 高
アメリカンフットボール部 高
空手道部 高
ゴルフ部 高

山岳部 高
スキー部 高
馬術部 高
ボート部 高

文化部

中・・・中学 高・・・高校

映画研究会 中 高
英語部 中 高
写真部 中 高
吹奏楽部 中 高
地歴部 中 高
鉄道研究会 中 高

美術部 中 高
文芸部 中 高
アコライト・ギルド※1 中 高
クワイヤー※2 中 高
オルガニストギルド※3 高
理科部 中

化学部 高
観測部 高
生物部 高
演劇部 高
音楽部 高
ジャズ研究会 高

将棋囲碁部 高

※1・2 アコライト・ギルドとクワイヤーは、中学ではチャペル・ギルドとして一つの団体になっています。

※3 高校オルガニストギルドは、クワイヤー／オルガニストギルドとして一つの団体になっています。

充実した施設や指導環境のもと、部活動に励むことができることも、立教新座の魅力の一つです。
中学生は約95%、高校生は約90%が部活動に参加しています。

「生徒一人ひとりが自分の希望する分野に進学すること」を進路指導の柱として、
中学から自分のやりたいことや将来について考えます。
高校では大学と連携したキャリア教育を行い、卒業後の進路決定を後押しします。



POINT 1

高校1年からさまざまな キャリア教育を実施

多様な職業に就く立教新座の卒業生による「OB講話会」や、
立教大学と連携した授業・説明会を実施。
きめの細かい指導で、生徒の自己実現をサポートします。

POINT 2

他大学受験にも 対応したカリキュラム

高校2年次から、他大学進学を目指す生徒を支援するための
「他大学進学クラス」を1クラス設置。
受験に適したテキストや問題集を使用した授業を行うため、
希望する大学への合格に向けた学習が可能です。

254名

54名

2022年度

246名

79名

2023年度

269名

60名

2024年度

99%

高校3年間の学習成績が基準を
満たしていれば、立教大学に推
薦入学が可能です。
例年、希望者のほとんどが立教
大学に進学しています。

20%

他大学受験を志すことができるの
も、立教新座の大きな特長です。
例年約20%の生徒が他大学へ
進学しています。

SELECTION 進路選択のイメージ

高校1年

5月

キャリア教育プログラム「OB講話会」

10月

立教大学教員による特別授業 全11学部・13講座

11月・12月

他大学進学クラス説明会 申し込み期間

1月

希望者が多数の
場合は学内選考

立教大学への
推薦権を放棄

クラス替え

一般クラス

他大学進学クラス

6月

立教大学 学部学科説明会

全員対象

希望する学部・学科の
説明を聞く

9月

共通テスト、学校推薦型選抜
公募推薦入試説明会
希望者

11月

立教大学学部学科説明会

立教大学を志望する生徒対象

立教大学への推薦権を放棄したうえで、他大学が受験可能

11月下旬以前は、推薦権の放棄の取り消しが可能

立教大学へ 推薦

学部学科は
学内序列順に決定

他大学受験

学校推薦型選抜
総合型選抜
公募推薦
一般入試

立教大学への推薦進学

立教大学とは

立教大学は、1874(明治7)年の開学以来、知性・感性・身体バランスが取れた全人教育を意味する「リベラルアーツ」を教育理念とし、「専門性に立つグローバル教養人」の育成を目指しています。国際化戦略「Rikkyo Global 24」では、「海外への学生派遣の拡大」、「外国人留学生の受け入れの拡大」、「教育・研究環境の整備」、「国際化推進ガバナンスの強化」の4つの目標を実現するために24項目の施策を講じています。2014年に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されました。



2024年度立教大学推薦者数

学部	学科	人数
文学部	キリスト教学科	0
	文学科／英米文学専修	10
	文学科／ドイツ文学専修	0
	文学科／フランス文学専修	2
	文学科／日本文学専修	6
	文学科／文芸・思想専修	7
	史学科	5
	教育学科	9
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	17
経済学部	経済学科	30
	経済政策学科	15
	会計ファイナンス学科	15
経営学部	経営学科	22
	国際経営学科	14
理学部	数学科	3
	物理学科	5
	化学科	1
	生命理学科	0
社会学部	社会学科	14
	現代文化学科	14
	メディア社会学科	14
法学部	法学科	26
	国際ビジネス法学科	11
	政治学科	8
Global Liberal Arts Program (GLAP)		0

立教大学推薦基準の概要

- 1. 卒業研究論文を提出し、認定されること。
- 2. 英語についての一定の能力が認定されること。
- 3. 国語についての一定の能力が認定されること。
- 4. その他の科目の能力が認定されること。
- 5. 学校生活上の状況が良好であること(出欠状況等)。
- 6. 立教大学への進学を希望し、勉学の意志を明確に持っていること。
- 7. 自己推薦項目で一定のポイントを取得していること。
- 8. 高校が定める卒業に必要な単位を修得していること。

CHECK

立教大学の学部学科定員数によって各学部学科への推薦者枠が設定されています。
推薦対象者は学内序列順により希望学部学科を選びます。



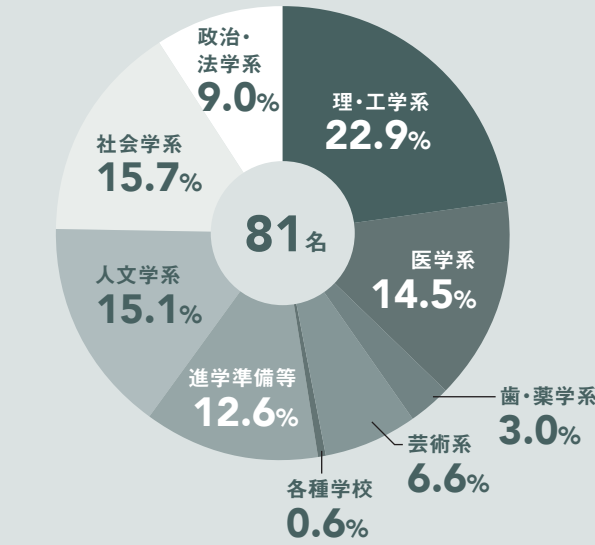
受験による大学進学

他大学進学について

立教大学以外の大学進学を目指す生徒を支援するために、高校2年次より「他大学進学クラス」を1クラス設置しています。
受験を前提として、主要科目では受験に適したテキストや問題集を使用するなど、他のクラスとは多少違う進度・内容の授業を行います。
また、受験対応の選択科目を選択し受験に備えることになります。

2025年度入試分野別内訳

(2025年3月卒業生60名と既卒者21名の合格実績／2025年3月31日現在)



(2025年3月31日現在一部抜粋)

大学入試合格者数

大学名	人数		
	2025	2024	2023
国公立	秋田大学	1	
	茨城大学		1
	大阪大学	1	
	鹿児島大学	1	
	京都大学	1	
	群馬大学	1	
	国際教養大学	1	1
	滋賀医科大学	1	
	滋賀大学	1	
	千葉大学		1
	東京科学大学(東京工業大学)	1	3
	東京外国語大学	1	
	東京大学	1	2
	東京農工大学	2	
	東北大学	1	3
	新潟大学		1
	浜松医科大学	1	
	一橋大学	1	2
	北海道大学		2
	横浜国立大学		1
	東京都立大学	1	1
私立	防衛医科大学校	1	
	愛知医科大学	1	
	青山学院大学	2	6
	学習院大学		1
	関西医科大学		1
	関東学院大学		1
	北里大学	4	1
	杏林大学	1	1
	慶應義塾大学	17	14
	工学院大学		1
	国際医療福祉大学		1
	国際基督教大学	2	1
	国士舘大学	1	
	駒澤大学	1	
	埼玉医科大学	1	1
	産業医科大学		1
	自治医科大学		1
	芝浦工業大学	3	2
	順天堂大学	1	2
海外	城西大学	1	1
	上智大学	15	4
	昭和大学		1
	成蹊大学	2	
	成城大学	1	2
	聖路加国際大学		1
	多摩美術大学	2	
	千葉工業大学		2
	中央大学	6	2
	帝京大学	3	1
	東海大学	1	
	東京医科大学	4	1
	東京音楽大学		1
	東京工芸大学	3	1
	東京歯科大学		1
	東京慈恵会医科大学	2	1
	東京造形大学	2	
	東京電機大学		3
	東京都市大学		1
	東京理科大学	8	8
	東邦大学	2	1
私立	東洋大学	1	1
	獨協医科大学	1	
	日本医科大学		1
	日本獣医生命科学大学	1	
	日本大学	6	1
	福岡大学		1
	法政大学	6	2
	星薬科大学		1
	武蔵野大学		1
	武蔵野美術大学	2	1
	明治学院大学		1
	明治大学	8	14
	明治薬科大学		1
	横浜薬科大学		1
	立教大学	5	3
	立正大学	1	
	立命館大学		1
	早稲田大学	13	12
	ニコラス州立大学(アメリカ)		1

大学名	人数		
	2025	2024	2023
私立	城西大学	1	1
	上智大学	15	4
	昭和大学		1
	成蹊大学	2	
	成城大学	1	2
	聖路加国際大学		1
	多摩美術大学	2	
	千葉工業大学		2
	中央大学	6	2
	帝京大学	3	1
	東海大学	1	
	東京医科大学	4	1
	東京音楽大学		1
	東京工芸大学	3	1
	東京歯科大学		1
	東京慈恵会医科大学	2	1
	東京造形大学	2	
	東京電機大学		3
	東京都市大学		1
	東京理科大学	8	8
	東邦大学	2	1
私立	東洋大学	1	1
	獨協医科大学	1	
	日本医科大学		1
	日本獣医生命科学大学	1	
	日本大学	6	1
	福岡大学		1
	法政大学	6	2
	星薬科大学		1
	武蔵野大学		1
	武蔵野美術大学	2	1
	明治学院大学		1
	明治大学	8	14
	明治薬科大学		1
	横浜薬科大学		1
	立教大学	5	3
	立正大学	1	
	立命館大学		1
	早稲田大学	13	12
	ニコラス州立大学(アメリカ)		1

ICT機器を活用し 能動的に学ぶ力を身に付ける

立教新座中学校・高等学校のICT教育は、ICT機器を使いこなすことがゴールではありません。効率的に調べものをしたり、物事を深く考察し表現したり、学びをより深めることを目的にさまざまな取り組みを実施しています。



主体的な学びを推進

2020年度よりGoogle Workspaceを導入し、全生徒へGoogleアカウントを発行。全ての授業（講座）のClassroomが設定されており、生徒はオンライン授業の受講や課題提出、スケジュール管理に活用しています。また、S.P.F.（文化祭）では、Google Workspaceを利用して専用のWebサイトを作成し、展示やイベントの紹介など、来場者への情報発信を行っています。クラブ活動でも、スケジュール管理や日々の連絡のほか、動画や写真撮影、レポートの提出など、体育部文化部ともに積極的に活用中です。さらに全生徒へMicrosoft Officeアカウントを発行したり、「ロイロノート・スクール」を導入したりと、生徒の主体的な学びを推進しています。



充実した学習環境

●中学生はiPad、高校生はBYOD

立教新座では、Windows PCをPC教室3室に約120台、CALL教室に約40台を設置しています。中学生は、入学時に立教新座仕様のiPadを購入します。高校生は卒業研究論文を執筆するため、論文作成に必要なソフトが使えるノートパソコンやキーボード付きのタブレット等の使用を推奨。BYOD (Bring Your Own Device) で個人が所有しているデバイスを授業で使用することもあります。



●構内全域にWi-Fi、全教室にApple TVを完備

全ての教室とフィールド、サッカー場など構内全域にWi-Fi環境を整備。また、全てのホームルーム教室にはApple TVと大画面プロジェクターを設置。インタラクティブな授業を展開しています。生徒は授業時間外でもインターネットを使った調査学習や課題に取り組むことができます。



プログラミング・ITリテラシーの習得

中学1年からITリテラシーを講習会などで学び、中学3年では技術・家庭科の授業で情報倫理やコンピュータによる計測・制御など基礎知識を習得。高校2年の「情報I」ではその発展としてコンピュータの仕組みや情報処理の方法を学びます。また、高校3年の自由選択科目では、プログラミングについて実践的に技術を習得する講座を開講。中学から高校と継続して、基礎的な知識から専門分野まで幅広く学べる機会を設けています。



Q&Aは本校Webサイトでも
ご覧いただけます。

カリキュラムについて

Q. 中学と高校でクラス替えはありますか？

A. 中学1年～高校2年でクラス替えがあります。高校2年と3年は同じクラスです。

Q. 授業で先取り学習は行いますか？

A. カリキュラム全体の進捗を進めるための「先取り学習」はしていません。定められた中・高の課程を前提としています。しかし、一歩先の内容を取り入れることで理解が進むと考えるものは、中・高、学年の枠にとらわれず学習しています。

Q. 補習や補講はありますか？

A. 教科担当者が生徒の学習の定着具合を見て、授業時間だけで足りないようであれば「補習」を行います。また「補講」は理解が進んでいる生徒を対象に、授業より発展的な内容や問題に取り組みます。中学では各学期末に補習・補講期間が設けられています。

Q. 海外留学はできますか？

A. 中学では2年次に立教英国学院（イギリス）に1年間留学する制度があります。高校では2年次に、提携校のセント・ポールズ・スクール（アメリカ）に2カ月間留学するワン・クォーター留学制度とカナダのセントラルオカナガン公立学校区へ約1年間留学する学校代表派遣留学制度があります。自分自身で留学先国やプログラムを探す「私費留学」も可能で、留学中を「休学」とし、帰国後に「進級復学」または「留級復学」を選択することができます。

学校生活について

Q. 制服はありますか？

A. 中学生は指定の制服を着用します。高校生は制服の着用を自由としています。制服または学校生活にふさわしい服装であればかまいません。

Q. 通学時間や通学区域に制限はありますか？

A. 通学時間・通学区域は中高とも制限していません。在校生は広範囲から通学しています。詳細は、P.38の在籍生徒の通学圏データをご覧ください。

Q. 食堂はありますか？

A. 3号館の1階に約460席の食堂（生徒ホール）があります。中高生ともに昼食を取ることができますが、お弁当を持参してもかまいません。売店で弁当やパン、おにぎりを購入することもできます。
《食堂の基本的な営業時間》月～金／11:00～13:30

Q. クリスマンでなくても入学できますか？

A. 毎週チャペルアワー（礼拝）があり、入学式、卒業式などの式典を礼拝形式で行うため、キリスト教らしさを感じることがあると思いますが、キリスト教の信仰を強要することはありません。中学では「キリスト教」、高校1年では必修科目として「聖書」の授業があり、一つの知識として、キリスト教の教え、聖書のことば、その歴史的背景などを学びます。授業なので、テストも行います。



INFORMATION

学校説明会・公開行事・学校見学

※学校説明会・公開行事・学校見学について、
詳細は本校Webサイトでご確認ください。

中学



高校



学校説明会	6月1日(日) 要予約 [中学]9:30～10:30 11:50～12:50 [高校]9:50～10:50 11:30～12:30
オープンキャンパス	7月21日(月・祝) 要予約
生徒による学校説明会	9月14日(日) 要予約 [中学]9:30～10:30 11:00～12:00 [高校]13:00～14:00 14:30～15:30
S.P.F. (文化祭)	10月25日(土)・10月26日(日)
学校見学	キャンパス内(校舎内は除く)のご見学は随時可能です。予約の必要もございません。お気軽にお越しください。

中学校 入試情報

入試要項および出願方法は
Webサイトをご確認ください。
https://niiza.rikkyo.ac.jp/
admissions/juniorj.html



高等学校 入試情報

入試要項および出願方法は
Webサイトをご確認ください。
https://niiza.rikkyo.ac.jp/
admissions/senior.html



2026年度 中学校 入試概要

	一般[第1回]	帰国児童	一般[第2回]
募集定員	約100名	若干名	約40名
出願資格	2026年3月 小学校卒業見込み の男子	日本の小学校第6学年に相当する学齢男子児童であり、保護者の海外勤務に伴い海外に在留し、次のいずれかの条件を満たす者 ①海外在留期間が継続して1年以上で、帰国後1年以内の者 ②海外在留期間が継続して2年以上で、帰国後2年以内の者	2026年3月 小学校卒業見込み の男子
出願期間	2025年12月18日(木)12:00～2026年1月18日(日)23:59 Webのみ		2025年12月18日(木)12:00～ 2026年2月2日(月)16:59 Webのみ
書類郵送期間	なし	1月9日(金)～1月19日(月)必着	なし
入学試験	1月25日(日)		2月3日(火)
合格発表	1月26日(月)15:00 Webのみ		2月3日(火)21:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	1月26日(月)15:00～2月2日(月)16:59 Webのみ		2月3日(火)21:00～ 2月4日(水)11:59 Webのみ

試験時間・配点

▶一般入試[第1回・第2回]

時間	科目	試験時間	配点
1	算数	50分	100点
2	国語	50分	100点
3	理科	30分	50点
4	社会	30分	50点

▶帰国児童入試

時間	科目	試験時間	配点
1	算数	50分	100点
2	国語	50分	100点
3	面接(本人)	2科目終了後	—

2025年度 費用一覧

入学手続時納入金		学費等納入金	
入学金	300,000円	授業料	624,000円
維持資金	100,000円	維持資金	278,000円
合計	400,000円	学生会費	10,000円
		セントポール会費	21,000円
		合計	933,000円
初年度年額		1,333,000円	
		(制服・教材 その他 約150,000円)	

※2026年度の学費は改訂する場合があります。

※寄付金は1口100,000円(複数口以上)を任意でお願いしています。

※入学手続時納入金(400,000円)の延納制度はありません。ただし、所定期限中に入学辞退の手続を行った場合のみ、入学手続時納入金のうち、維持資金分(100,000円)を返還します。

2025年度 入試結果

	一般[第1回]	帰国児童	一般[第2回]
募集人数	約100名	若干名	約40名
志願者数	1,710名	7名	285名
受験者数	1,631名	6名	228名
合格者数	740名	1名	40名
補欠者数	124名	—	39名
補欠繰上数	102名	—	11名
合格最高点	258点	—	209点
合格最低点	184点	—	174点
補欠最低点	176点	—	162点
教科平均点数	算数	58.4点	30.7点
	国語	54.1点	31.7点
	理科	32.0点	—
	社会	29.9点	—

2026年度 高等学校 一般入試概要

募集定員	約60名
出願資格	2026年3月 中学校卒業見込みの男子 及び中学校を卒業した男子
出願期間	2026年1月9日(金)12:00～ 1月24日(土)23:59 Webのみ
調査書 郵送期間	2026年1月9日(金)～ 1月26日(月)必着
入学試験	2月1日(日)
合格発表	2月2日(月)16:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	2月2日(月)16:00～ 2月9日(月)16:59 Webのみ

試験時間・配点

時間	科目	試験時間	配点
1	数学	60分	100点
2	国語	60分	100点
3	英語	60分	100点

※英語はリスニングテストも含む

2025年度 一般入試結果

志願者数	1,612名
受験者数	1,562名
合格者数	689名
補欠者数	173名
補欠繰上数	150名

2025年度 推薦入試結果

志願者数	34名
一次合格者数	21名
合格者数	21名

2025年度 費用一覧

入学手続時納入金		学費等納入金	
入学金	300,000円	授業料	624,000円
維持資金	100,000円	維持資金	278,000円
合計	400,000円	学生会費	10,000円
		セントポール会費	21,000円
		合計	933,000円
初年度年額		1,333,000円	
		(制服・教材 その他 約100,000円)	

※2026年度の学費は改訂する場合があります。

※寄付金は1口100,000円(複数口以上)を任意でお願いしています。

※本中学から高校への内部進学の場合も、入学金を納入していただきます。

※入学手続時納入金(400,000円)の延納制度はありません。ただし、所定期限中に入学辞退の手続を行った場合のみ、入学手続時納入金のうち、維持資金分(100,000円)を返還します。

2026年度 高等学校 推薦入試概要

募集人員	約20名
出願資格	下記の条件①～⑥をすべて備えていること ①2026年3月中学校卒業見込みの男子 ②本校を第一志望とし、一次書類審査合格者は必ず二次試験を受験し、合格した場合は必ず入学すること ③3年間の欠席日数の合計が21日以内の者 ④中学校3年2学期の9教科5段階評定の合計が36以上かつ2以下がない者 ⑤中学時の課外活動・学外活動において、次のA・Bいずれかの条件を満たしている者 A.体育活動において、都道府県レベル以上の大会でベスト8以上の成績を残した者。ただし、団体競技の場合は、試合に出場した者に限る B.文化活動において、都道府県レベル以上のコンクールで入賞またはそれに相当する成績を残した者。ただし、団体の場合は、大会に参加したメンバーに限る ⑥入学後は出願資格⑤に関わる本校のクラブ活動に所属し、その優れた実績をさらに伸ばす意志を持ち、学業との両立を図る意志のある者
出願期間	2025年12月11日(木)12:00～ 2026年1月4日(日)23:59 Webのみ
書類郵送期間	2025年12月25日(木)～ 2026年1月6日(火)必着
選抜方法	一次:書類審査 二次:面接
一次合格発表	1月16日(金)10:00 Webのみ
二次試験	面接試験 1月22日(木)
二次合格発表	1月23日(金)10:00 Webのみ
入学手続時納入金 払込期間	1月23日(金)10:00～ 1月28日(水)23:59 Webのみ

[推薦入試に関するよくいただく質問]

Q.推薦入試、あるいは単願・併願制度等がありますか？

A.<中学>

ありません。

<高校>

「推薦入試」と新座・志木・朝霞・和光の4市の公立中学校から、本校の定める基準により推薦された生徒を受け入れる「地域指定校制推薦制度」があります。いずれも単願・専願の制度ではありませんが、「合格した場合必ず入学すること」が出願資格になります。「地域指定校制推薦」の基準は、該当する中学校にご確認ください。

READ MORE



入試に関するその他の
ご質問は本校Webサイト
でもご覧いただけます。

変化の激しい時代に 未来を切り開く力を

立教新座中学校・高等学校は、生徒一人ひとりの自由を尊重し、自律心と責任感を育む学校です。広大で緑豊かなキャンパス、そして、生徒の学びを支える上で基盤となる充実した施設・設備は、知的好奇心を刺激し、生徒のかけがえのない感性や価値観を育みます。また、男子校という自身の興味や探求心に没頭しやすい環境は、自分らしく安心していられる居場所をつくってくれるでしょう。さらに、立教大学との連携が、生徒の学びをより深く、より専門的な領域へと導き、将来の可能性を大きく上げます。

変化の激しい現代社会で私たちに本当に必要な力とは何でしょうか？
困難に粘り強く立ち向かう力、多様な人々と協調して物事を成し遂げる力、そして何よりも、自分自身を深く理解し、他者を尊重する心。立教新座では、こうした力を「真理を探求する力」と「共に生きる力」ととらえ、日々の学びや活動を通して身に付けていきます。
まだ見ぬ自分自身との出会いが、未来を切り開く力となるでしょう。立教新座で、自身の物語を共に紡ぎませんか。私たちは、生徒一人ひとりのチャレンジを心から応援しています。

立教新座中学校・高等学校 校長 塩見牧雄

立教学院について

立教学院は、米国聖公会から派遣された宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が1874年、東京・築地に聖書と英学を教える私塾を開いたことに始まります。今日まで「キリスト教に基づく人間教育」を建学の精神に据え、「真理を探求する力」と「共に生きる力」を育てることを共通の教育目標として、小学校から大学まで一貫した連携教育を行っています。

真理を探求する力

学生・生徒・児童たちが、他者から与えられるのではなく、自主的・自律的に学習・研究活動を進めることを目指します。

共に生きる力

友人、知人、家族をはじめ、地域、国、世界の人々と理解を深め、協力して今日の課題を担い、未来を開く力を育てることを目指します。

沿革

- 1874(明治7)年

ウィリアムズ主教、築地に私塾を開くのちに「立教学校」と称する
- 1948(昭和23)年

「立教高等学校」として池袋に開校
- 1960(昭和35)年

新座に移転
- 1964(昭和39)年

海外研修旅行 開始
- 1969(昭和44)年

欧州研修旅行
(現 英国サマースクール) 開始
- 1970(昭和45)年

選択科目制度 開始
- 1980(昭和55)年

英語の習熟度別授業 開始
- 1990(平成2)年

オーストラリア短期留学 開始
- 1995(平成7)年

他大学進学クラスを設置
- 2000(平成12)年

「立教新座高等学校」と改称し、
「立教新座中学校」を併設
- 2014(平成26)年

新校舎、総合体育館、
セントポールズ・フィールド完成
- 2024(令和6)年

立教学院創立150周年



旧プール



旧第一体育館



旧本館

学校概要

在籍生徒数

(2025年4月1日現在)

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
6クラス	6クラス	6クラス	8クラス	8クラス	8クラス
208名	202名	228名	329名	330名	317名
638名			976名		
1,614名					

在籍生徒の通学圏

(2025年4月1日現在)

中学・高校とも通学時間や通学区域に制限はありません。

埼玉県内だけでなく、東京都内や神奈川県や千葉県、茨城県など広範囲から生徒が通学しています。

(人)

区域	中学	高校	合計
練馬区	60	82	142
文京区	15	20	35
板橋区	39	34	73
北区	14	11	25
豊島区	34	20	54
足立区	15	12	27
荒川区	5	8	13
葛飾区	1	5	6
江戸川区	1	3	4
台東区	8	11	19
大田区	6	10	16
江東区	10	17	27
品川区	5	11	16
渋谷区	12	9	21
墨田区	5	4	9
世田谷区	32	36	68
千代田区	4	6	10
中央区	13	15	28
港区	9	12	21
目黒区	24	16	40
中野区	10	9	19
新宿区	26	31	57
杉並区	23	32	55
合計	371	414	785

区域	中学	高校	合計
八王子市	7	7	14
立川市	5	5	10
武蔵野市	8	14	22
三鷹市	8	11	19
青梅市	1	0	1
府中市	3	7	10
昭島市	3	2	5
調布市	3	9	12
町田市	0	3	3
小金井市	6	12	18
小平市	3	6	9
日野市	2	5	7
東村山市	4	6	10
国分寺市	6	8	14
国立市	2	1	3
福生市	0	1	1
狛江市	1	1	2
東大和市	2	1	3
清瀬市	4	1	5
東久留米市	10	10	20
多摩市	1	3	4
稲城市	1	0	1
羽村市	1	0	1
西東京市	10	12	22
西多摩郡瑞穂町	1	2	3
合計	92	127	219

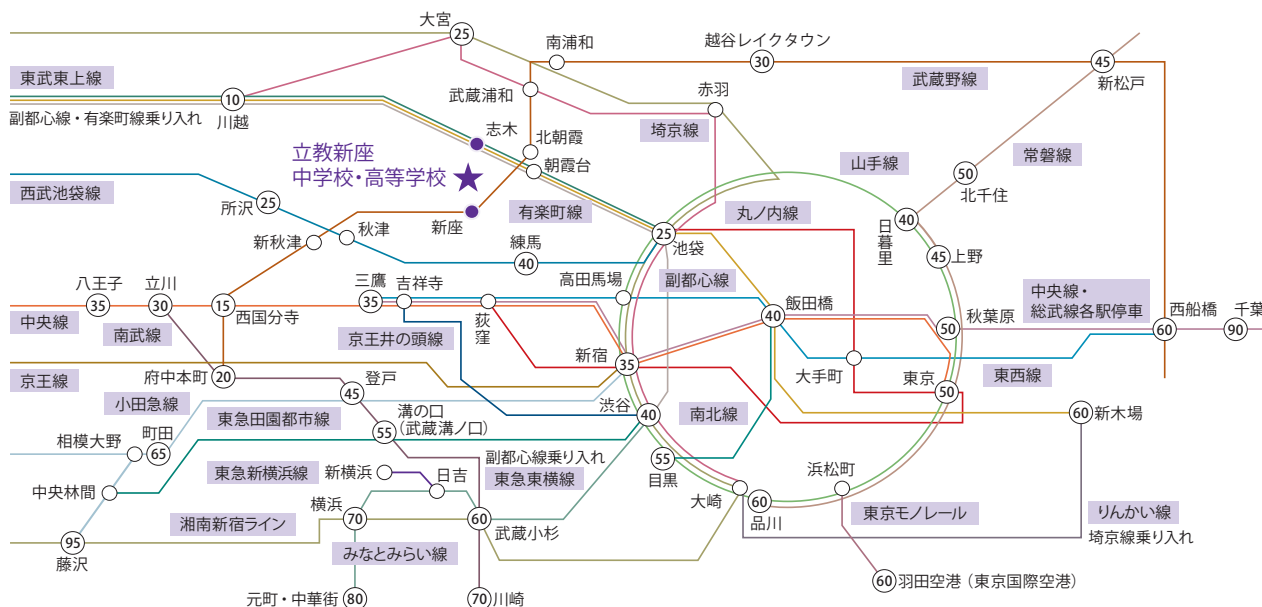
区域	中学	高校	合計
ふじみ野市	4	7	11
富士見市	3	12	15
朝霞市	15	45	60
志木市	8	27	35
和光市	2	19	21
新座市	8	45	53
蕨市	3	2	5
戸田市	3	13	16
川口市	19	41	60
八潮市	1	0	1
三郷市	0	5	5
春日部市	0	2	2
草加市	4	4	8
越谷市	6	12	18
白岡市	1	0	1
吉川市	0	1	1
所沢市	12	23	35
狭山市	2	1	3
入間郡	3	2	5
飯能市	2	0	2
入間市	1	3	4
日高市	1	1	2
さいたま市	41	65	106
東松山市	0	2	2
鶴ヶ島市	0	1	1
比企郡	0	1	1
川越市	8	6	14
熊谷市	0	2	2
上尾市	3	4	7
桶川市	0	2	2
北本市	0	1	1
鴻巣市	0	2	2
蓮田市	1	0	1
久喜市	1	1	2
加須市	0	2	2
行田市	0	2	2
北葛飾郡	0	2	2
合計	152	358	510

	区域	中学	高校	合計
神奈川県	横浜市	3	13	16
	川崎市	9	25	34
	鎌倉市	0	1	1
	藤沢市	0	2	2
	小田原市	0	1	1
	相模原市	0	4	4
	厚木市	0	1	1
	合計	12	47	59
千葉県	市川市	1	4	5
	船橋市	0	3	3
	松戸市	3	3	6
	野田市	0	2	2
	柏市	2	3	5
	流山市	3	3	6
	我孫子市	0	1	1
	浦安市	1	7	8
	白井市	0	1	1
	合計	10	27	37
栃木県	宇都宮市	1	1	2
合計	1	1	2	
茨城県	取手市	0	1	1
合計	0	1	1	
群馬県	前橋市	0	1	1
合計	0	1	1	
総合計		638	976	1,614

ACCESS 交通案内

最寄駅までのアクセス

○の中の数字は、最寄り駅までの所要時間を示します。
時間はあくまでも目安です。



最寄駅からのアクセス



志木駅

- 東武東上線
(東京メトロ有楽町線／副都心線相互乗り入れ) 南口より
- ・徒歩 正門まで約15分
- ・スクールバス 約7分(運行時間10:10～18:30)
- ・西武バス 約10分(清瀬駅北口行／所沢駅東口行「立教前」下車)

新座駅

- JR武蔵野線 南口より
- ・徒歩 正門まで約25分
- ・スクールバス 約10分(運行時間 7:30～18:45)
- ・西武バス 約10分(志木駅南口行「北野入口経由」立教前下車)

※スクールバスの運行状況などの詳細は、本校Webサイトをご確認ください。 2025年5月現在



立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25

TEL:048-471-2323(代表) 048-471-6648(入試窓口)

FAX:048-473-0455

<https://niiza.rikkyo.ac.jp/> e-mail:rikkyohs@rikkyo.ac.jp



公式Webサイト



公式LINE



公式Facebook



公式Instagram